

# 2020年度 事業報告書

(2020年9月から2021年8月まで)

特定非営利活動法人 互理いちごっこ

## 1. 事業概要

2020年度は、①コミュニティ・レストラン事業(サロン活動、製造、グッズ販売を含む)、②子どもサポート事業 ③家庭的保育事業所【わたり家庭保育園いちごっこ】運営、④陽だまり事業 ⑤生活サポート事業の運営を行った。

2021年4月からは、陽だまり事業においては、一般財団法人陽だまりハーモニーが《陽だまりコンサート》及び《陽だまりアカデミー》の運営を担い、当法人はサポート役として事業を進めた。《震災にもコロナにも負けないぞコンサート》等の事業は、財団の協力をいただきながら進めている。

次に事業ごとに報告する。

## 2. 各事業詳細

### (1) コミュニティ・レストラン事業

コロナウィルス感染拡大に伴い、サロン活動を行うことができなかった。また、毎年被災地研修として訪れる中高大学生たちの受け入れも行うことができなかった。

<2019年10月台風19号被災地支援>を、日本財団、中央共同募金会“ボラサポ基金”をいただきながら前年度進めていたが、2020年2月に一時停止を余儀なくされた。2020年度に再開の機会を待ったが、実施することができないまま事業を打ち切ることとなった。

当年度の取り組みは、<健康維持食普及活動>及び、地域NPO法人虹色たんぼぼの協力を得ながら進めた<聞き書き講座>が主だった取り組みとなった。



発足当初からの目的である  
“健康維持食の普及”  
夕ご飯用に配達を希望されるご高齢の方にも利用していただいている

2020年10月 コロナ対策をしながら“聞き書き講座”実施  
NPO法人虹色たんぼぼの協力を得、現地・リモートの併用対応とした



<即興パフォーマンス> 地域住民参加型の即興劇…リモート配信併用開催。  
<ルミエール・カルテット ワークショップ>をサロン棟にて開催。



2020.9. 浜吉田ヨガサークル…会員数の安定を図る

発足当初始めた<ヨガサロン>。浜吉田地区にて住民が主体となって<浜吉田ヨガサークル>として活動が継続されてきた。一時、会員減少により継続が危ぶまれたため、当方にて無料お試し会を実施。会員確保につながり、自力でのサークル運営が可能となった。

地域住民が主体となる活動が、地域活性化に不可欠と考える。個々の住民・地域団体との協働がより地域ニーズに適した継続活動への鍵となっている。当方の限られた人員でより有効な活動を展開するためにも、今後も地域協働を進めていく。

- 【助成元】
- ・年賀寄付金配分事業(2020・2021年度)
  - ・宮城県2020年度NPO等の絆力による復興支援事業

## (2) 亙理こどもサポート事業

立ち上げ期より続けてきた寺子屋いちごっこ、実施して3年目となる寺子屋パーク、地域イベントを主に展開した。昨期より続くコロナ禍により、当初計画していた長期休暇中の活動は中止せざるを得なかった。

寺子屋いちごっこにおいては、基礎学力の向上と内面的なサポートを継続して行った。小学生は国語と算数、中学生は英語、数学を中心に学習を進めたが、個々に必要な課題があるときは科目や学校での進捗に関係なく、その課題を取り組んだ。

中学3年生は今期9名在籍し、8名が公立高校へ進学した。今期も東北大学学内サークル『サークルいちごっこ』と協力し進めていたが、大学からの課外活動自粛の通知を受け、リモートへの参加が主になった。生徒個人個人で進めている内容が異なったり、リモートでの対応に不慣れだったりしたために、十分に学生たちを活かしきれなかった。寺子屋いちごっこの活動は21年3月にておよそ10年の節目に一区切りし、同年4月からWataLinkに事業を引き継いだ。

寺子屋パークにおいては、コロナ禍により昨期より中止していたが20年9月より再開。



2020年度 ありがとうの会  
寺子屋一区切りの日、卒業生たちも集まった。  
東北大学サークル<サークルいちごっこ>のみなさんは  
リモートで参加。

再開後は当方施設内にて実施した。1回あたりの人数は少ないながらも、学校の宿題をやったり、友達と遊んだりと楽しんでた。寺子屋パークの活動は21年3月にて一区切りとした。

地域イベントは10月に「ハロウィンパーティ」、12月に「クリスマスパーティ」、3月に「ありがとうの会」を、規模を縮小して実施した。

明治ホールディングス株式会社株主様（日本NPOセンターが仲介）から年末に届けられるチョコレートを中心としたお菓子。亘理町内にある児童クラブ5か所にクリスマスプレゼントとして届けている。震災から10年。今もなお被災地域に心を向けていただけていることに、感謝の言葉が現場から届けられている。



【助成元】東日本大震災復興支援財団 子どもサポート基金（2020年度）

### （3）家庭的保育事業(わたり家庭保育園いちごっこ運営)

3才未満児を5名お預かりし、保教育の実践を図ってきた。モンテッソーリ教育を通して、制限のある自由の中で子どもが自ら選び、チャレンジし、活動の中で自己訂正していく過程を大切に日々の保教育を実践している。

立ち上げ2年後の2020年度には、モンテッソーリ教育を長年実践してきた先生に園長補佐としてかかわっていただき、日々全スタッフの資質向上に向けた取り組みを進める。定期的に行われるミーティングにおいては、職員自身の自己訂正能力が徐々に養われてきていることを実感している。2022年、5年目を迎えるにあたり、さらなる保教育の充実を図っている。

この事業においてもコロナの影響が大きかった。

コロナウィルス感染拡大前には毎月一度、当園児と地域子育て親子、他事業所を対象とした《わらべうた・文学あそび with いちごっこ》を開催していた。しかし、開催を断念せざるを得なくなった。



保育室にてわらべうた遊び

しかしわらべうたの会を開催することはできなくなりましたが、子どもたちに《わらべうた》が定着してきていた表れとして、保育者と子どもたちがわらべうたで遊ぶ光景を日常的保育の場面で見る事ができた。



子どもどうしてわらべうたあそびする場面も



2020. 11. 芸術飛行船  
おはようシアター

安全対策の元、《令和2年度文化芸術による子どもの育成事業(芸術家の派遣事業)》の一環として、とよたかずひこ作『でんしゃにのって』をモチーフとした《おはようシアター》を開催することができた。地域のお子さんたちにも声をかけ、生のシアターを目の当たりにすることができた。当方のような小さな保育事業所として、芸術を味わうという環境は作りづらい。この《宮城県芸術飛行船》の活動が続くことを願っている。

自然に触れる機会を多く取り入れた。近くのお寺が絶好の探検場所、発見の場所となっている。



稱名寺での探索



第4回 いもほり大会

自然を取り入れた活動の一つとして、園庭での野菜作り、毎年恒例行事となってきた秋の”いもほり大会“。今年度も家庭的保育園よちよちさんの園児と一緒にどろんこになって収穫を楽しむことができた。



節分・行事食  
出汁から手作り給食



絵本の充実を図る  
絵本の貸し出し利用も多い



ライオンロッキングを寄付していただく



園庭プールをたのしむ子どもたち



2020年12月 園庭で雪だるまづくり

子どもたちが日々、季節を感じながら過ごすことができるよう環境に配慮することを心掛けている。

- 【助成元】
- ・東日本大震災復興支援財団 子どもサポート基金(2020年度)
  - ・文化庁 令和元年度文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣事業)
  - ・霊友会

#### (4) 陽だまり弦楽アカデミー・陽だまりコンサート事業

＜こどもの弦楽アカデミー＞、＜おとなの弦楽アカデミー＞を概ね月2回実施。コロナの影響下、中断を余儀なくされることもあったが、何とか対面式のレッスンを行うことができています。現在こども8名、おとな4名のアカデミー生が弦楽を学びに集まっています。



陽だまりアカデミーレッスン

＜陽だまりコンサート＞も同様に、感染拡大の影響を避けながら回数を減らして実施してきた。年に1回開催予定だった＜陽だまりアカデミー・コンサート＞は中止せざるを得なかった。

『換気を十分に取り、蜜を避ける』ことを鉄則とするコンサートでは、サロンコンサートの実施はかなわず、○楽器体験 ○コンサートお茶会などは実施できなかった。人とのコミュニケーション交流という目的は達成させることができなかった。

コンサート会場確保が思うようになかった。ホールがコロナワクチン接種会場となったために使用できず、普段の練習会場にて定員30名にして実施した。

このような事態であるからこそ、コンサート活動を絶えさせてはならないと開催した。いらした方たちからは「息の詰まる思いである。こんな時だからこそ、コンサート活動を続けてほしい」という声をいただいた。



陽だまりコンサート開催

今年度は初めての試みである『震災にも コロナにも 負けないぞ』コンサート』を2021年1月31日開催。宮城県仙南域で初めての市民弦楽オーケストラを結成し、一般公募で35名の方々が集まった。エキストラの先生方も加わり、佐藤寿一氏指揮のもと全45名での弦楽オーケストラを、聞き手も弾く側も味わうことができた。



「震災にもコロナにも負けないぞコンサート」練習風景

芸術部門を長期的に運営していくには、資金的課題が大きいのしかかる。その課題を乗り越えるため、〈一般財団法人陽だまりハーモニー〉と連携した取り組みを行ってきた。2021年4月からは長期安定的活動としていくため、陽だまりアカデミー及び陽だまりコンサート事業を財団が引き継いだ。〈負けないぞ』コンサート〉は、財団からの協力を得ながらプロジェクトを進めている。

また新たな取り組みとして、《陽だまりアンサンブル・コンクール》を2022年8月開催に向けて準備を進めている。

- 【助成元】 宮城県文化芸術による心の復興支援事業(2020年度)  
年賀寄付金配分事業(2020年度)  
宮城県共同募金会 みやぎチャレンジプロジェクト助成事業(2020年度)  
宮城県 NPO 等による心の復興支援事業 (2021年度)

#### (5) 生活サポート事業

2020年4月からスタートし、亘理町より委託を受けた介護保険事業の「生活支援サービス(以下、委託事業)」と、介護保険の枠に囚われないさまざまな“日常生活のお困りごとをサポート”する当方独自事業「家事代行サービス 生活家事のお手伝い(以下、自主事業)」を展開した。コロナ禍の影響もあり10月より本格的に広報活動を介護施設やポスティングを中心に展開、ケアマネージャーさんや地域の方々へヒアリングを行いながら実施した。広報活動(2021年8月末日現在)、委託事業の定期利用が2件、自主事業の定期利用が2件、単発利用が10件以上となった。



清掃のお困りごと対応  
台所掃除

少しでも良いサービスを提供するため、清掃研修や草刈り講習会などを行った。並行して定期的にスタッフミーティングを行い、広報活動やサービスの改善点を議論した。

このような日々の地道な活動によって、地域のお困りごとをサポートする件数が増えている。「困っていたから助かった」「ぜひこれからも頑張ってもらってほしい」というお声がけをいただいている。ポスティング等を行っていく中【いちごっこ生活サポート】が少しずつではあるが、地域に覚えていただけるようになってきている。



生活サポート・スタッフミーティング



草刈り講習会

- 【助成元】 年賀寄附金配分事業（2020，2021年度）  
宮城県 NPO 等の絆力を活かした震災復興支援事業（2020年度）  
大阪コミュニティ財団（2021年度）